

# 支部協びより

第123号

発行所  
 NTT労組退職者の会  
 沖縄県支部協議会  
 沖縄県浦添市城間4-35-2  
 TEL.098-870-7101  
 FAX.098-875-7450  
 責任者  
 瀬良垣 武安

## NTT労組退職者の会 第16回定期総会報告

事務局次長 安里 優

「安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、みんなと共に!!」をスローガンに、NTT労組退職者の会第16回定期総会が10月6日(月)15時から沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパにおいて盛大に行われました。今年の総会は1泊2日の日程で貸し切りバス2台を連ねて90名余(来賓含む)の会員参加のもと開催されました。1日目は3部構成で1部が総会、2部が講演会、3部が懇親会で、おこななかにも楽しい総会となりました。総会は渡嘉敷副会長の開会宣言のあと、瀬井長次郎・与那嶺米子のお二人が議長団に選出され議事に入りました。

お名前が読み上げられ、参加者全員で故人を偲びご冥福を祈り黙とうをささげました。つづいてNTT労組九州総支部沖繩分会砂川分会長のあいさつ、退職者の会中央協議会石原事務局長のあいさつがありました。そのあと各種報告・提案に入り事務局から、①2013年度経過報告及び2014年度活動方針、②会則の変更について、③2013年度決算報告及び2014年度予算(案)の提案、④会計監査報告について会計監査から報告があり、質疑討論に入りました。活動方針の中で特徴的なことは、①辺野古への新基地建設は許さない、②「オナガ雄志」

必勝です。質疑については①から④まで一括して行いました。会員から「核兵器禁止1千万人署名運動について」署名の期間と方法について質問があり、執行部から、署名集約の時期として11月中旬を目途とし、方法については返信用封筒と署名用紙を郵送し返送していただくような方法で準備中であると回答。また、宮古地区協会の会員から、宮古地区協と支部協の交流方法と予算の算出根拠について質問があり、事務局から、広報により参加希望者をつのり、支部協から20名、宮古地区協から20名を想定している。予算については、宮古島におけるバスチャーター代等は支部協負担、交流会については3千円を支部協負担とし超えた分については参加者負担とするとの回答がありました。質疑応答のあと、「2013年度経過報告」「会則の変更について」「会計監査報告」「2

014年度活動方針」を満場一致決定しました。2部の講演会は沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパの平良朝敬CEOが「基地は沖縄経済発展の阻害要因でしかない」と自社事業(観光事業)のデータを具体的に示しながらお話しして下さいました。3部の懇親会は、幕開けから余興全般にわたり、三線クラブ、民舞サークルを中心に大いに盛り上がり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。2日目は辺野古視察と抗議行動です。9時に沖縄かりゆしビーチリゾートを出発しキャンプシュワブゲート前に集結、テント村の山城博二氏からキャンプシュワブ内で建設の解体工事が始まったことや、座り込み行動の状況について報告を受け、キャンプシュワブ前で「辺野古基地建設反対」「建設工事阻止」「辺野古の海を守るぞ」とシュプレヒコールを繰り返しながらデモ行進を行いました。辺野古の浜に移動する前に参加者から前日に募ったカンパ金の1部を贈呈し、その後辺野古の浜へ移動しました。辺野古の浜ではヘリ基地反対協の安次富浩共同

代表から、海上における抗議行動や米軍による監視の状況等について説明を受けました。ここでも安次富浩共同代表へカンパ金の贈呈を行いました。辺野古での視察・交流のあと昼食会場である読谷の沖繩ハム総合食品(株)へ移動し、ハムの製造工場、黒糖の製造工場を見学したあと昼食をと

りバスで帰途につきました。2014年度活動方針にもありますように「もはや基地は、経済発展の阻害要因でしかない」であることを常識化し、「オナガ雄志」県知事候補勝利に向けて共に頑張らなう。

### 問われる沖縄の本気 // 良識 //

会長 瀬良垣 武安

今度の県知事選挙の重要な焦点の一つに、まず第一に位置付けておかなければならないことは、二〇一〇年十一月に施行されました沖縄県知事選挙で仲井眞現知事は普天間飛行場の県外移設を主張し公約に掲げ、投票総数の五二%を獲得して二期目の当選をしました。また二〇一二年二月には防衛局から提出された辺野古への移設計画にともなう環境影響評価書に対し沖縄県知事は五一七件の事項をあげ「当該事業は環境の保全上重大な問題がある。生活環境及び自然環境の保全を図ることは不可能(・・・)」との意見書を防衛局へ送致しております。

さらに同年九月、宜野湾市で開催されましたオスプレイ配備に反対する県民大会へも参加をしております。また、二〇一三年一月には沖縄県の四十一全市町村の市長、町長、村長及び各議長並びに県議会でも全会一致で決議されました。普天間飛行場の県内移設断念を求めるオスプレイの配備撤回を求める

との「建白書」を一月二八日に日本政府、安倍総理にオール沖縄とし手交されました。

このように普天間飛行場の県内移設反対、オスプレイの強行配備撤回の要求はオール沖縄の要求として共



有していたはずの自民党県連の五名の国会議員は、自らの選挙で県外移設を公約に県民の付託を受け当選したにもかかわらず、自民党本部、安倍暴走政権の強権的圧力に服従させられ、選挙時の県民との公約を裏切り、当時の自民党石破幹事長の足元で並んで座っている五名の県連国会議員の惨めな姿の映像はまだ県民の記憶に強く残っています。

そして決定的な仲井眞知事の県民への裏切り行為は、これまでのオール沖縄として普天間飛行場の県外移設要求を、仲井眞知事は年末に車イスに乗って東京へ行き、自民党政権幹部や関係者とこそそこそと病院を抜け出し秘密に交渉し、最後は安倍総理と普天間飛行場の五年以内の閉鎖を要求し、安倍総理と、今日的現状でも明らかに不可能と云われている出来もしない五年以内の普天間飛行場の閉鎖と云う口約束をもって県内移設を求め、そのような約束を最大級に評価をし、「一四〇万県民を代表してお礼をします」「これで良い正月を迎えることが出来る」と発言し、県議会においても仲井眞知事の辞任決議がなさ

れ沖縄県民の多くから強い批判と抗議が起りました。

このように仲井眞知事の裏切り行為の経過の過程で、昨年十二月二十七日に仲井眞知事は辺野古新基地建設のための辺野古の海面の埋め立て申請に対して公約の県外移設をくつがえして「承認」をしてしまいました。このような蛮行は単に埋め立て申請に対して承認を与えたと云うことだけでは済まされぬ歴史的重大な過ちを犯し大きな問題が発生する。

そのことは県内に存在する過重な米軍基地を、さらに新たに自然を破壊し美しい海を埋め立て永久的米軍基地となり、沖縄の未来を担う子や孫達へ安心・安全、すばらしい自然環境を継承することが出来なくなると同時に、県内に現存する米軍基地の基地建設の歴史は沖縄の人々の人権を阻害し人道的な配慮を無視して建設されたものであり、銃剣とブルドーザーで強制的に取用されて建設されたのが県内の現存の米軍基地であります。従って沖縄県民の同意などは一度も取られていません。

沖縄はこれまで一度たりとも「どうぞ」と軍事基地

### 核兵器廃絶を求める署名について

核兵器は、兵士や住民の区別なく無差別に大量に破壊と虐殺を行う兵器です。

爆発後も、その放射能を帯びた粉塵は、戦場と遠く離れた地域まで襲い掛かり、多くの災害を人間だけでなく動植物にも与えます。

核兵器廃絶に向けた取り組みを国際的に、国連の場で行います。

1000万人もの署名を集める取り組みです。署名欄は、必ず満たしてください。

住所の記入は、市町村名からが良い。(沖縄県は省略してください)

住所は、同上、"の記入せず、きちんと書いてください。

◎料金受取人払いの封筒を同封しています。この封筒に入れて返送してください。

(事務局長 長嶺)

建設のために土地を差し出したことはありません。県民の尊厳も公約も裏切った仲井眞知事は一四〇万県民の代表にふさわしくありません。

現知事の埋め立て「承認」に対し県民の意思を県知事選挙ではつきり示して勝利するため、会員の皆様方が多くの方々へ、**オナガ雄志** 県知事予定候補のご支持を呼びかけ、支持者拡大へ共に頑張ってくださいますようお願い致します。

なお那覇市長選挙では連合沖縄をはじめ情報労連沖縄県協も推薦をしています。城間みきこ予定候補のご支持もよろしくお願い致します。最後まで共に頑張ります。

\*三人の新規会員を紹介いたします。

栗国芳信さん：那覇在  
玉城進輝さん：那覇在  
金城 章さん：那覇在

**トゥンギー おめでとー**

伊波堅司

私は健康維持の為、朝のウォーキングを40分〜50分と、週2回ソフトボールとゴルフの練習をし、充実した毎日を過ごしております。今後も体の続く限り運動を続けたいと思います。皆様の健康とご活躍をお祈りいたします。

祈りいたします。

**豊岡 良子**

昨年病を患い、元の健康・体力の回復を取り戻すべくリハビリに専念した結果、無事午年を迎えることが出来、はれて家族と共に85歳の祝いをし、毎日元気に過ごしています。

又、いただいた祝い金は、辺野古で新基地建設反対で頑張っている皆様への運動の足しに寄付します。

**玉那覇 寿子**

不健康な老人(身内)に寄り添う日々を過ごしています。皆さま健康第一ですよー!! (寄附します。)

**安里 与助**

私が住む与那国島は、沖縄本島から520キロ離れた島です。これといった娯楽もなく、毎日の楽しみは、時々魚釣りをして酒の肴にし、仲間と共に島の発展を語りあうことです。

晴れた日には、妻と一緒に澄み切った空気を吸いながら山道をウォーキングしたり、周りの動植物を観察しつつ、足腰を鍛えるような心がけています。

**比嘉 節子**

ご無沙汰しています。至って元気に過ごしています。特別な健康法などありませんが、大好きなガーデニングで草花が育ち、花を咲かせた喜びが私を健康にしてくれていると思います。ポランティア活動は何もしていませんが、ご近所の庭のお手入れなどお手伝いさせてもらっています。ゆんたくの花がいつはいいです。今後の希望として近所を巻き込んでオープンガーデンを開いてみたいと思っています。トウシビーという年令を忘れていました。支部役員の皆様に感謝。ありがとうございました。

**平良 一枝**

右腕骨折して、字が書きにくい。運動は、ゴルフや踊りは続けています。

(続く)

「会員の訃報について」  
謹んでご報告し、故人のご冥福をお祈りします。  
神谷 厚秀(2014.6.30死亡) 満85歳、那覇市在  
仲宗根 孝昌(2014.9.11死亡) 61歳、那覇市在